

平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設
(2)施設概要	<p>①所在地  さいたま市南区大谷場2丁目6番25号(さいたま市南浦和コミュニティセンター)  さいたま市中央区本町東3丁目5番43号(さいたま市与野本町コミュニティセンター)  さいたま市中央区上峰2丁目3番5号(さいたま市上峰コミュニティホール)  さいたま市中央区桜丘2丁目6番28号(さいたま市西与野コミュニティホール)  さいたま市中央区大字下落合1712番地(さいたま市下落合コミュニティセンター)  さいたま市浦和区東高砂町11番1号(さいたま市浦和コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的  市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要  (さいたま市南浦和コミュニティセンター)  【開館】平成3年4月  【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建  【敷地面積】2,822㎡  【延床面積】1,495㎡  【主要施設】体育館(定員167名)、レクリエーション室(定員50名)</p> (さいたま市与野本町コミュニティセンター) 【開館】昭和56年3月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上1階建 【敷地面積】6,249㎡ 【延床面積】2,539㎡ 【主要施設】多目的ルーム(大)(定員290名)、和室(定員60名) (さいたま市上峰コミュニティホール) 【開館】昭和59年9月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】558.08㎡ 【延床面積】316.91㎡ 【主要施設】会議室(定員18名)、調理室(定員12名) (さいたま市西与野コミュニティホール) 【開館】平成4年7月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】1,629㎡ 【延床面積】1,410㎡ 【主要施設】多目的ルーム(定員150名)、第1会議室(定員36名) (さいたま市下落合コミュニティセンター) 【開館】平成15年5月8日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上20階建のうち3階・4階部分 【延床面積】991.66㎡ 【主要施設】多目的ルーム(定員108名)、調理室(定員12名) (さいたま市浦和コミュニティセンター) 【開館】平成19年10月25日 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上10階建のうち9階一部・10階部分 【延床面積】4,239.76㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、レクリエーションルーム1(定員45名)

(3) 指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日 ②指定管理料 平成28年度178,068千円、平成29年度178,068千円、平成30年度178,198千円
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 738,280人(前年度740,717人) ・利用率74.6%(前年度74.7%)  ◇業務実施状況 ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸出  ②維持管理業務の状況 ・施設、設備等の保守点検及び修繕を実施  ③その他の業務 【自主事業(さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設)】 ・子どもバレー体験講座(26)、カメラ片手に与野を歩こう講座(10)、体験！きっかけ講座(23)、小学生絵画コース(32)、ゆったりヨガ講座(20)、大人の習事シリーズ～生け花講座～(22)等、各種講座を開催 ※( )内の数字は、参加者数
(6) 収支状況	①収入 ・指定管理料178,198千円 (前年度178,068千円) ・自主事業収入894千円 (前年度1,255千円) ・その他収入2,488千円 (前年度2,522千円) ②支出 ・人件費103,409千円 (前年度103,884千円) ・事務費731千円 (前年度715千円) ・施設管理費72,260千円 (前年度75,738千円) ・自主事業費1,866千円 (前年度2,264千円)
(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・トイレがウォシュレットであれば良い、との指摘があり女子トイレ(洋式1台)をウォシュレットタイプに交換しました。 ・畳替えをして欲しい、との要望があり畳表の張り替を実施した。(上峰、西与野) ・その他、各館に寄せられる様々な意見・要望に対して、速やかにその内容を検討し、対応するよう努め安心・安全で快適な施設運営を図った。
(8) その他	地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	<p>各種講座や普通救命講習等を開催したほか、コミセンまつりやコンサートなど、合計69事業を実施し、延べ26,205名の参加者を得た。</p> <p>また、市内17のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて、地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～みなさんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと協働開催した。</p>
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	<p>事業団ホームページや事業団情報誌SaCLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、施設の利用情報や、施設を取り巻く地域の情報を掲載し、市民への情報提供に努めた。</p> <p>また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。</p>
施設の貸出	<p>パソコンが苦手な方のために予約の補助、代行を行うとともに、接遇研修の受講等を生かし、丁寧な接客を心がけ、施設利用者及び利用率の増加に努めた。</p> <p>また、利用する施設以外のコミュニティ施設で利用申請及び入金することができる「他館申請」サービスを行った。</p>
施設維持管理	<p>指定管理協定書の維持管理計画表にも基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。</p> <p>また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水料費の削減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。</p>
市施策事業との連携	<p>南浦和コミュニティセンターでは南浦和公民館と共催で文化祭を開催。浦和コミュニティセンターでは浦和区内公民館(岸町、大東、常盤、北浦和、南筈)と共催で「書道・篆刻グループ展」の他、「さいたま市ジュニアソロコンテスト」予選会を開催し連携を図った。</p> <p>また、下落合コミュニティセンターでは大正時代まつりとコミセンまつりを同時開催し、大正時代まつり写真展を行うなど、連携を図った。</p>
利用者満足度調査	<p>施設利用者には「職員の対応」・「施設・整備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。</p> <p>また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口に設置した。</p>

### 3. 評価

#### (1) 指定管理者による評価

利用者にとって安心・安全で快適な利便性の高い施設となるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の点検・整備を行い、適正な施設維持管理に努めた。また、自主事業の実施にあたっては3つのコア機能(生涯学習機能・地域交流機能・地域支援機能)を具体化した「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。

今後においても、上記の事項を実施しつつ地域の意見を取り入れながら適切な施設運営に努めるとともに、事業参加者の増加を図るため、広報の工夫と強化を図り、利用者の増加に努めてまいります。

#### (2) さいたま市の評価(評価担当課: 市民局市民生活部コミュニティ推進課)

##### 総合評価 (B) ※A~D

##### ① 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進

- ・南浦和コミュニティセンターは、広報紙をコンビニや駅にも配布し、施設の周知拡大に努めていた。
- ・与野本町コミュニティセンターは、地元散策を含めた講座を開くなどの工夫が見られた。
- ・上峰コミュニティホールは、地域密着の企画を行い、定着している雰囲気を感じられた。
- ・西与野コミュニティホールは、子供向けの講座を実施し、利用者拡大に努めていた。
- ・下落合コミュニティセンターは、分譲マンションという立地を生かした講座を開催していた。
- ・浦和コミュニティセンターは、利用者が多く業務多忙だが、大きなトラブルなく運営できていた。

##### ② 経費の削減

- ・節電や裏紙の利用に努めていた。
- ・下落合コミュニティセンターは、簡単な修繕を自ら行い、修繕料を節約していた。

##### ③ 適正な管理運営の確保

- ・保守点検はおおむね計画どおりに実施されていた。

##### 2 総合評価

事業計画に沿って、適正に管理運営が行われている。

#### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実し、利用者の拡大に努めるとともに、適切な施設の点検及び修繕を実施するよう指導していく。